

Chapter 1 直接原価計算

Section

1

直接実際原価計算

問題1 直接原価計算と全部原価計算

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.1-2

問1.

	損益計算書	(単位：円)
I 売上高	()	
II 売上原価	()	
売上総利益	()	
III 販売費及び一般管理費	()	
営業利益	()	

問2.

	損益計算書	(単位：円)
I 売上高	()	
II 変動売上原価	()	
()	()	
III 変動販売費	()	
()	()	
IV 固定費		
1. 固定製造費	()	
2. 固定販売費	()	
3. 固定一般管理費	()	
営業利益	()	

問題2 固定費調整1

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.1-4

直接原価計算 による営業利益	+	期末製品に含ま れる固定加工費	-	期首製品に含ま れる固定加工費	=	全部原価計算 による営業利益	
	円		円		円		円

1 直接原価計算

2 CVP関係の分析

3 最適セーカスミックスの決定

4 企業予算の編成

5 事業部の業績評価、営業費計算

6 意思決定① 会計

7 意思決定② 会計

8 戦略的原価計算

問題3 固定費調整2

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.1-5

問1.

	<u>固定費調整</u>	(単位：円)
直接原価計算の営業利益		()
期末仕掛品固定費	()	
期末製品固定費	()	()
期首仕掛品固定費	()	
期首製品固定費	()	()
全部原価計算の営業利益		()

問2.

	<u>固定費調整</u>	(単位：円)
直接原価計算の営業利益		()
期末仕掛品固定費	()	
期末製品固定費	()	()
期首仕掛品固定費	()	
期首製品固定費	()	()
全部原価計算の営業利益		()

問題4 加工費の予定配賦を行う場合

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.1-7

	<u>直接原価計算の損益計算書</u>	(単位：円)
売上高		3,150,000
変動売上原価	()	
原価差額	() () ()	()
変動製造マージン		()
変動販売費		126,000
貢献利益		()
固定費		
製造固定費	()	
固定販売費及び一般管理費	()	()
直接原価計算の営業利益		()
固定費調整		
月末仕掛品固定費	()	
月末製品固定費	()	()
月初仕掛品固定費	()	
月初製品固定費	()	()
全部原価計算の営業利益		()

		損益計算書(直接原価計算)	(単位：円)
売 上 高			11,050,000
変動売上原価			
月初製品棚卸高	()		
当月製品製造原価	()		
合 計	()		
月末製品棚卸高	()		
差 引	()		
変動製造原価差異			
第 1 工 程	() ()		
第 2 工 程	() ()		
差 異 合 計	() ()	()	
変動製造マージン			()
変動販売費			680,000
貢 献 利 益			()
固 定 費			
第 1 工 程 加 工 費	()		
第 2 工 程 加 工 費	()		
販売費及び一般管理費	()	()	
直接原価計算の営業利益			()
固 定 費 調 整			
(加 算)			
月末仕掛品固定費			
第 1 工 程	()		
第 2 工 程	()		
月末製品固定費	()	()	
(減 算)			
月初仕掛品固定費			
第 1 工 程	()		
第 2 工 程	()		
月初製品固定費	()	()	
全部原価計算の営業利益			()

1 直接原価計算

2 CVP関係の分析

3 最適セーカスミックスの決定

4 企業予算の編成

5 事業部の業績評価営業費計算

6 意思決定会計①

7 意思決定会計②

8 戦略的原価計算

問題6 直接標準原価計算における標準原価差異分析

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.1-12

損 益 計 算 書		(単位：円)
I 売 上 高		()
II 標準変動売上原価		()
変動製造マージン		()
III 変動販売費		()
標準貢献利益		()
IV 原 価 差 異		
1 価 格 差 異	〔 〕 ()	
2 数 量 差 異	〔 〕 ()	
3 賃 率 差 異	〔 〕 ()	
4 作 業 時 間 差 異	〔 〕 ()	
5 予 算 差 異	〔 〕 ()	
6 能 率 差 異	〔 〕 ()	
7 販 売 費 差 異	〔 〕 ()	〔 〕 ()
実際貢献利益		()
V 固 定 費		
1 固定製造原価	()	
2 固定販売費	()	()
営業利益		()

【注意】〔 〕内には有利差異の場合には+(プラス)を、不利差異の場合には-(マイナス)を記入すること。

損益計算書(全部原価計算)		(単位：円)
売上高		15,000,000
売上原価		
期首製品棚卸高	()	
当期製品製造原価	()	
合計	()	
期末製品棚卸高	()	
原価差異		
予算差異	() ()	
操業度差異	() ()	
差異合計	() ()	()
売上総利益		()
販売費及び一般管理費		()
営業利益		()

損益計算書(直接原価計算)		(単位：円)
売上高		15,000,000
変動売上原価		
期首製品棚卸高	()	
当期製品製造原価	()	
合計	()	
期末製品棚卸高	()	
変動原価差異		
予算差異	() ()	
差異合計	() ()	()
変動製造マージン		()
変動販売費		400,000
貢献利益		()
固定費		
加工費	()	
販売費及び一般管理費	()	()
直接原価計算の営業利益		()
固定費調整		
期末仕掛品固定費	()	
期末製品固定費	()	()
期首仕掛品固定費	()	
期首製品固定費	()	()
全部原価計算の営業利益		()

1 直接原価計算

2 CVP関係の分析

3 最適セーカスミックスの決定

4 企業予算の編成

5 事業部の業績評価、営業費計算

6 意思決定会計①

7 意思決定会計②

8 戦略的原価計算

(1)	千円	(2)	千円	(3)	千個	(4)	千円
(5)	千個	(6)	千円	(7)	千円	(8)	千円
(9)	千円	(10)	千円				

Chapter 2 CVP関係の分析

Section

1

CVP関係の分析

問題1 直接原価計算の基礎

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.2-1

a		b		c	
d		e		f	

Section

2

直接原価計算とCVP分析

問題2 単一製品を前提としたCVP分析1

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.2-2

問1.

損益分岐点販売量 個

問2.

営業利益は 円 () する。

【注意】 () 内には増加・減少いずれかを記入すること。

問題3 単一製品を前提としたCVP分析2

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.2-3

営業利益 円

損益分岐点売上高 円

安全(余裕)率 %

損益分岐点比率 %

問題4 直接原価計算の損益計算書を用いた分析**解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.2-4

	第1案	第2案	第3案
(1)	500,000 千円	千円	千円
(2)	43,200 千円	千円	千円
(3)	個	個	個
(4)	%	%	%

問題5 複数製品を前提としたCVP分析1**解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.2-7製品 Q 個製品 R 個**問題6** 複数製品を前提としたCVP分析2**解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.2-8

① 損益分岐点販売量

製品 X 個製品 Y 個製品 Z 個② 安全率 %**問題7** 経営レバレッジ係数の算定**解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.2-9経営レバレッジ係数 **問題8** 全部原価計算によるCVP分析**解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.2-10損益分岐点販売量 個安全率 %1
計算
直接原価2
の分析
CVP関係3
ミックスの決定
最適セー
ルスの4
編成
企業予
算の5
価
事業部
の業
績評
算6
会計①
意思
決定7
会計②
意思
決定8
原価
計
算
戦
略
的

原価の固変分解

問題9 高低点法

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.2-11

製造間接費発生額 円

問題10 最小自乗法

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.2-12

変動費率 万円/時間月間固定費 万円

Chapter 3 最適セールスマックスの決定

最適セールスマックスの決定

問題1 最適セールスマックス1

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.3-1

問1.

営業利益 円生産・販売量 Z_1 個 Z_2 個 Z_3 個

問2.

生産・販売量 X … 個 Y … 個営業利益 円

問題2 最適セールスマックス2

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.3-3

1 直接原価計算

2 CVP関係の分析

3 最適セールスマックスの決定

4 企業予算の編成

5 事業部の業績評価 営業費計算

6 意思決定 会計①

7 意思決定 会計②

8 戦略的原価計算

問1.

目的関数

制約条件

①
②
③
④

非負条件

⑤
⑥

最適セールスマックス

製品A 個

製品B 個

年間営業利益 円

問2.

製品B 1個当たりの貢献利益が 円より少なければ、最適セールスマックスは変化する。

問題3 最適セールスマックス3

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.3-5

問1.

変動加工費率 円/時間 固定加工費 万円

問2.

計画損益計算書					(単位：万円)
製品	A	B	C	D	合計
売上高	()	()	()	()	()
変動費	()	()	()	()	()
貢献利益	()	()	()	()	()
固定費					()
営業利益					()

問3.

製品A 個 製品B 個

製品C 個 製品D 個

営業利益増加額 万円

問題4 最適セールスマックス4**解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.3-8

問1.

製品 α 円 製品 β 円

問2.

 個

問3.

 個

問4.

製品 α 個 製品 β 個 営業利益 円

問5.

 円**問題5 最適セールスマックス5****解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.3-12

問1.

問2.

製品 A 個 製品 B 個 貢献利益 円**問題6 最適セールスマックス6 (第119回原価計算・改題)****解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.3-14

問1.

製品 X の年間生産・販売量	個
製品 Y の年間生産・販売量	個
年間貢献利益	円

問2.

製品 X の年間生産・販売量	個
製品 Y の年間生産・販売量	個
設備 A の製品 X 年間生産量	個
設備 A の製品 Y 年間生産量	個
設備 B の製品 X 年間生産量	個
設備 B の製品 Y 年間生産量	個
年間貢献利益	円

問3.

製品 X の年間生産・販売量	個
製品 Y の年間生産・販売量	個
年間貢献利益	円

Chapter 4 企業予算の編成—利益計画と利益統制

Section

1

企業予算の編成

問題 1 企業予算の編成 1 (全部標準原価計算)

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.4-1

次期貸借対照表 (単位:円)

現金	()	買掛金	()
売掛金	()	短期借入金	()
製品	()	未払利息	()
材料	()	未払法人税等	()
建物・設備	()	社債	()
土地	1,000,000	資本金	3,000,000
		利益準備金	()
		繰越利益剰余金	()
資産合計	()	負債純資産合計	()

次期損益計算書 (単位:円)

売上高	()
売上原価	()
売上総利益	()
販売費及び一般管理費	()
営業利益	()
支払利息	()
経常利益	()
法人税等	()
当期純利益	()

1 直接原価計算

2 CVP関係の分析

3 最適セーカスミックスの決定

4 企業予算の編成

5 事業部の業績評価・営業費計算

6 意思決定① 会計

7 意思決定② 会計

8 戦略的原価計算

問題2 企業予算の編成2 (直接標準原価計算)

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.4-3

売 上 高	()円
差引：変動売上原価	()円
変動製造マージン	()円
差引：変動販売費	()円
貢 献 利 益	()円
差引：固定費	
固 定 製 造 費	()円
固 定 販 売 費	()円
固定一般管理費	()円
直接原価計算の営業利益	()円
固定費調整：	()円
全部原価計算の営業利益	()円
予定貸借対照表の現金の額：	()円
予定貸借対照表の売掛金の額：	()円
予定貸借対照表の買掛金の額：	()円

問題3 企業予算の編成3 (直接標準原価計算)

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.4-5

	<u>10月期予定損益計算書</u>	(単位：円)
売 上 高	()	
変動売上原価	()	
変動製造マージン	()	
変動販売費	()	
貢 献 利 益	()	
固 定 費		
製 造 費	()	
販売費及び一般管理費	()	
計	()	
営 業 利 益	()	

貸借対照表：現金 円

問題4 予算実績差異分析1 (項目別分析)**解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.4-8

営業利益差異

販売価格差異 円 ()市場占有率差異 円 ()市場総需要量差異 円 ()売上原価差異 円 ()変動販売費価格差異 円 ()変動販売費数量差異 円 ()固定費差異 円 ()

【注意】 () 内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題5 予算実績差異分析2 (要因別分析)**解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.4-11販売価格差異 円 ()販売量差異 円 ()変動費差異 円 ()

【注意】 () 内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題6 予算実績差異分析3 (要因別分析)**解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.4-12営業利益差異 円 ()

貢献利益差異

内訳：販売価格差異 円 ()販売数量差異 円 ()変動費差異 円 ()固定費差異 円 ()

【注意】 () 内には有利・不利いずれかを記入すること。

問1.

①	円	②	円	③	個
---	---	---	---	---	---

問2.

④	円	⑤	円()	⑥	円
⑦	円()	⑧	円()	⑨	円()
⑩	円()				

【注意】() 内に、有利差異であれば「F」、不利差異であれば「U」と記入しなさい。

差異が0の場合は「-」を記入すること。

問題8 同種製品の予算実績差異分析

問1. 航空券別売上高の予算実績総差異

航空券種類	総 差 異	
ファースト	()	千円
ビジネス	()	千円
エコノミー	()	千円
合 計	()	千円

問2. 航空券別航空運賃差異と航空券別発券枚数差異

航空券種類	航空運賃差異		発券枚数差異	
ファースト	()	千円	()	千円
ビジネス	()	千円	()	千円
エコノミー	()	千円	()	千円
合 計	()	千円	()	千円

問3. 航空券別セールス・ミックス差異と航空券別総発券枚数差異

航空券種類	セールス・ミックス差異		総発券枚数差異	
ファースト	()	千円	()	千円
ビジネス	()	千円	()	千円
エコノミー	()	千円	()	千円
合 計	()	千円	()	千円

問4.

市場占有率差異 = () 千円

市場総需要量差異 = () 千円

問題9 予算実績差異分析のまとめ

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.4-20

問1. 実際データの生産・販売数量

	卸	東京店	福岡店
生産・販売数量	()枚	()枚	()枚

問2. 販売価格差異と販売数量差異

販売ルート	販売価格差異	販売数量差異	変動費変動予算差異
卸	() 千円	() 千円	() 千円
東京店	() 千円	() 千円	() 千円
福岡店	() 千円	() 千円	() 千円
合計	() 千円	() 千円	() 千円

問3. セールス・ミックス差異と総販売数量差異

販売ルート	セールス・ミックス差異	総販売数量差異
卸	() 千円	() 千円
東京店	() 千円	() 千円
福岡店	() 千円	() 千円
合計	() 千円	() 千円

問4. 市場占有率差異と市場総需要量差異

市場占有率差異	() 千円
市場総需要量差異	() 千円

問題10 経営資本営業利益率差異分析

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.4-24

経営資本営業利益率差異分析表 (単位：%)

1. 予算経営資本営業利益率 ()
2. 売上高営業利益率差異 []()
3. 経営資本回転率差異 []()
4. 差異合計(2 + 3)..... []()
5. 実績経営資本営業利益率 ()

1 直接原価計算

2 CVP関係の分析

3 最適セーカス・ミックスの決定

4 企業予算の編成

5 事業部の業績評価・営業費計算

6 意思決定会計①

7 意思決定会計②

8 戦略的原価計算

Chapter 5 事業部の業績評価、営業費計算

Section

1

セグメント別損益計算

問題1 セグメント別損益計算1

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.5-1

・ 貢献利益率

A 製品 %

B 製品 %

C 製品 %

・ 結論

問題2 セグメント別損益計算2

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.5-2

問1.

事業部別損益計算書

(単位：千円)

	第1事業部	第2事業部	第3事業部
I 売上高	()	()	()
II 変動売上原価	()	()	()
()	()	()	()
III 変動販売費	()	()	()
貢献利益	()	()	()
IV ()	()	()	()
()	()	()	()
V ()	()	()	()
()	()	()	()
VI 共通固定費配賦額	()	()	()
事業部純利益	()	()	()

問2.

事業部長の業績評価順位 1位 第 事業部 2位 第 事業部 3位 第 事業部

事業部自体の業績評価順位 1位 第 事業部 2位 第 事業部 3位 第 事業部

問題3 単位当たり貢献利益分析

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.5-3

①		②		③	
④		⑤		⑥	

問題4 投下資本利益率と経済付加価値

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.5-4

- ① ⑤ 万円
- ② ⑥ 万円
- ③ ⑦ 万円
- ④ ⑧ 万円

【注意】 ①, ②, ③, ④は, 不要な文字を二重線で消しなさい。

Section

2

営業費計算

問題5 営業費計算

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.5-5

問1.

		製品品種別損益計算書			(単位:円)
		X製品	Y製品	Z製品	合計
I	売上高	()	()	()	()
II	売上原価	()	()	()	()
	売上総利益	()	()	()	()
III	販売費及び一般管理費				
	1. 広告費	()	()	()	()
	2. 販売促進費	()	()	()	()
	3. 市場調査費	()	()	()	()
	4. 倉庫費	()	()	()	()
	5. 運送費	()	()	()	()
	6. 販売事務費	()	()	()	()
	7. 管理費	()	()	()	()
	営業利益	()	()	()	()

1 直接原価計算

2 CVP関係の分析

3 最適セーカスミックスの決定

4 企業予算の編成

5 事業部の業績評価、営業費計算

6 意思決定会計①

7 意思決定会計②

8 戦略的原価計算

問2.

<u>製品品種別損益計算書</u>				(単位：円)
	<u>X 製品</u>	<u>Y 製品</u>	<u>Z 製品</u>	<u>合 計</u>
I 売 上 高	()	()	()	()
II 変 動 売 上 原 価	()	()	()	()
変動製造マージン	()	()	()	()
III 変 動 販 売 費	()	()	()	()
貢 献 利 益	()	()	()	()
IV 個 別 固 定 費				
1. 販 売 固 定 費	()	()	()	()
製品貢献利益	()	()	()	()
V 共 通 固 定 費				
1. 製 造 固 定 費			()	
2. 販 売 固 定 費			()	
営 業 利 益			()	

Chapter 6 意思決定会計①～業務執行的意思決定～

Section

2

意思決定における原価

問題1 特殊原価概念

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.6-1

(a)	(b)	(c)
(d)	(e)	

Section

3

業務執行的意思決定

問題2 差額原価収益分析

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.6-2

合理化案を採用する方が 円 $\left\{ \begin{array}{l} \text{有利} \\ \text{不利} \end{array} \right\}$ なので、

合理化案を採用すべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。

問題3 受注可否の意思決定1

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.6-3

X社の注文を引き受けた方が 円 $\left\{ \begin{array}{l} \text{差額利益} \\ \text{差額損失} \end{array} \right\}$ が出るので、

注文を引き受けるべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。

1
計算
直接原価

2
の分析
CVP関係

3
ミックスの決定
最適セー
ルスの

4
編成
企業予
算の

5
価
事業部の業績評
営業費計算

6
会計①
意思決定

7
会計②
意思決定

8
原価計算
戦略的

問題4 受注可否の意思決定2**解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.6-4

問1.

製品Xの生産量 = 個製品Yの生産量 = 個貢献利益 = 円

問2.

(1) 臨時の注文 300 個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて 円

だけ	{	有利である。
	}	不利である。

【注意】 いずれか適切な方を ○ で囲み、不要な文字を消しなさい。(2) 臨時の注文 450 個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて 円

だけ	{	有利である。
	}	不利である。

【注意】 いずれか適切な方を ○ で囲み、不要な文字を消しなさい。**問題5 追加加工の意思決定1****解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.6-7製品Xを追加加工し、製品Pとして生産・販売する方が 円の

{	差額利益	} となるので、追加加工すべきで	{	ある	}
}	差額損失		}	ない	

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。**問題6 追加加工の意思決定2****解答・解説** ⇒ 解答・解説 p.6-7

問1.

製品 S K		円
製品 S J		円
製品 S R		円

問2.

追加加工を行った方が 円

{	有利	}
}	不利	

 である。

問3.

原料Wを使用した方が 円 $\left\{ \begin{array}{l} \text{有利} \\ \text{不利} \end{array} \right\}$ なので使用すべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

【注意】正しい方を○で囲むこと。

問題7 追加加工の意思決定3

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.6-10

問1.

製 品	B	C	D	合 計
製品単位当たり製造原価	円	円	円	—
売 上 総 利 益	万円	万円	万円	万円

【注意】 マイナスの場合は、金額の前に△を付すこと。

問2.

製 品	B	C	D	合 計
売 上 総 利 益	万円	万円	万円	万円

【注意】 マイナスの場合は、金額の前に△を付すこと。

問3.

	工場全体の売上総利益
(1)	万円
(2)	万円
(3)	万円

【注意】 マイナスの場合は、金額の前に△を付すこと。

問題8 自製か購入かの意思決定1

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.6-14

() 案を採用した方が原価が () 円低く、有利である。

問題9 自製か購入かの意思決定2

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.6-14

問1.

$\left\{ \begin{array}{l} \text{自製} \\ \text{購入} \end{array} \right\}$ した方が原価が 円節約できるので $\left\{ \begin{array}{l} \text{自製} \\ \text{購入} \end{array} \right\}$ すべきである。

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。

問2.

$\left\{ \begin{array}{l} \text{自製} \\ \text{購入} \end{array} \right\}$ した方が原価が 円節約できるので $\left\{ \begin{array}{l} \text{自製} \\ \text{購入} \end{array} \right\}$ すべきである。

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。

問1.

翌期の生産量が 台より $\left\{ \begin{array}{l} \text{多ければ} \\ \text{少なければ} \end{array} \right\}$ 自製すべきである。

【注意】正しい方を○で囲むこと。

問2.

翌期の生産量が 台より $\left\{ \begin{array}{l} \text{多ければ} \\ \text{少なければ} \end{array} \right\}$ 自製すべきである。

【注意】正しい方を○で囲むこと。

Section

4

経済的発注量

問1.

個

問2.

(1) 円

(2) 円

(3) 個

Chapter 7 意思決定会計②～設備投資意思決定～

Section

1

構造的意決定の基礎知識

問題 1 貨幣の時間価値と投資

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-1

問 1.

円

問 2.

円

問 3.

ア		イ	
ウ		エ	

問題 2 加重平均資本コスト率の計算

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-2

問 1.

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

問 2.

(1) %

(2) %

Section

2

投資案の評価

問題 3 正味現在価値法（税金を考慮しない場合） 1

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-3

問 1.

円

問 2.

円

1
計算
直接原価

2
の分析
CVP関係

3
ミックスの決定
最適セールス

4
編成
企業予算の

5
価
事業部の業績評
営業費計算

6
会計①
意思決定

7
会計②
意思決定

8
原価計算
戦略的

問題4 正味現在価値法（税金を考慮しない場合）2

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-3

問1.

円

問2.

円

問題5 正味現在価値法（税金を考慮しない場合）3

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-4

この投資案の正味現在価値は 円なので、

この投資案を $\left\{ \begin{array}{l} \text{行　う} \\ \text{やめる} \end{array} \right\}$ べきである。

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。

問題6 内部利益率

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-5

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

問題7 正味現在価値と内部利益率の算定

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-5

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	

問題8 内部利益率法1

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-6

内部利益率 %

問題9 内部利益率法2

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-7

問1.

- ① 内部利益率が () % なので採用 $\left\{ \begin{array}{l} \text{すべきである} \\ \text{すべきでない} \end{array} \right.$ 。
- ② 内部利益率が () % なので採用 $\left\{ \begin{array}{l} \text{すべきである} \\ \text{すべきでない} \end{array} \right.$ 。

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。

問2.

内部利益率は A 案が () %、B 案が () %、C 案が () % なので () 案を採用すべきである。

問題10 収益性指数法

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-12

収益性指数は となるので投資を行うべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right.$ 。

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。

問題11 投資案の評価

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-13

問1.

単純回収期間法 年

問2.

正味現在価値法 万円

問3.

内部利益率法 %

問題12 単純回収期間法、単純投下資本利益率法

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-15

総投下資本利益率 %

回収期間 年

1
計算
直接
原価

2
の
分析
CVP
関係

3
ミ
ックス
の
決定
最
適
セ
ール
ス

4
編
成
企
業
予
算
の

5
価
業
業
費
計
算
事
業
部
の
業
績
評

6
会
計
①
意
思
決
定

7
会
計
②
意
思
決
定

8
原
価
計
算
戦
略
的

問1.

正味現在価値が（ ）万円であるから { 採用すべきである }
{ 採用すべきでない }。

問2.

① 1年目（ ）万円

2年目（ ）万円

3年目（ ）万円

② 正味現在価値が（ ）万円であるから { 採用すべきである }
{ 採用すべきでない }。

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。

Section
3

設備投資の例題と考え方

X 案の正味現在価値は、 千円、Y 案の正味現在価値は
千円である。したがって、 案の方が 案に比べて 千円有利なので、
 案を採用すべきである。

問1.

（ ）万円

問2.

（ ）万円

問3.

（ ）万円

問題16 取替投資3

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-23

最新鋭設備を導入する方が、正味現在価値が（ ）円（ 高く・低く ）
（ 有利・不利 ）である。

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。

問題17 リースか購入かの意思決定

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-25

購入案はリース案にくらべて 万円 $\left\{ \begin{array}{l} \text{有利} \\ \text{不利} \end{array} \right\}$ なので $\left\{ \begin{array}{l} \text{購 入} \\ \text{リ ー ス} \end{array} \right\}$ すべきである。

【注意】 不要な方を二重線で消しなさい。

問題18 設備投資と損益分岐点の生産・販売量

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-26

問1.

個

問2.

年間 個以上製造するならば 社製設備の方が有利である。

問題19 運転資本を伴う意思決定

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.7-28

正味現在価値 万円

1
計算
直接
原価

2
の
分析
CVP
関係

3
最適
セー
ル
ス
の
決
定

4
編
成
企
業
予
算
の

5
価
事
業
部
の
業
績
評
価
営
業
費
計
算

6
会
計
①
意
思
決
定

7
会
計
②
意
思
決
定

8
原
価
計
算
戦
略
的

Chapter 8 戰略的原價計算

Section

2

活動基準原價計算

問題 1 ABC (活動基準原價計算)

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.8-1

問 1.

製品 X	製品 Y	製品 Z
円	円	円

問 2.

製品 X	製品 Y	製品 Z
円	円	円

Section

3

品質原價計算

問題 2 品質原價計算

解答・解説 ⇒ 解答・解説 p.8-3

(ア)		(イ)	
(ウ)		(エ)	
(オ)			

